NEWS RELEASE

未来を、ひろげる。
HIROGIN HOLDINGS

広島銀行

2024 年 2 月 15 日

株式会社ユニコーンによる「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」のご利用について

株式会社広島銀行（頭取　清宗　一男）では、株式会社ユニコーン（本社：広島県広島市、代表取締役　中島　勝幸）に「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」をご利用いただき、サステナビリティ経営方針の策定をご支援しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

【企業概要】

会　社　名	株式会社ユニコーン
所　在　地	広島県広島市安佐北区可部南 1 丁目 27-20
代　表　者	中島　勝幸
業　　種	ソフトウェア業
事業内容等	重度障がい者向け意思伝達システムの開発、設計及び販売
サステナビリティ経営方針【詳細：別紙 1】	複数の社会福祉法人・教育機関と連携し、「テクノロジーと福祉の融合」をスローガンに、障がいのある方が「みやすく」生活できる、そんな夢を実現する「miyasuku プロジェクト」を発足致しました。本プロジェクトは、ものづくりを通して障がい者とその家族、福祉活動に携わる支援者の方々の活力向上につながるテクノロジーを提供し、共生社会に貢献します。 【重要課題】 1. 障がいのある方々の「やりたい」を叶え、「みやすく」生活できる社会に 2. 産学官の連携強化 3. 新サービスの開発・事業化や提供エリア拡大 4. 地域社会との共生 5. 従業員の知識向上 6. セキュリティ意識のさらなる向上

※「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」の概要は別紙 2 をご参照ください。

以上

広島銀行では、ＳＤＧｓへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「ＳＤＧｓ17 の目標アイコン」を明示しています。

【ＳＤＧｓ（Sustainable Development Goals）持続可能な開発目標）】
2015 年 9 月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての 2030 年までの世界共通目標。
持続可能な開発のための 17 の目標と 169 のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社　広島銀行
営業企画部　法人企画室
TEL　(082)247-5151（代表）

【別紙1】

株式会社ユニコーンの
サステナビリティ経営方針

Message：
当社は設立20年の節目となる2010年3月、複数の社会福祉法人・教育機関と連携し「テクノロジーと福祉の融合」をスローガンに、障がいのある方が「みやすく」生活できる、そんな夢を実現する「miyasukuプロジェクト」を発足致しました。

「miyasuku(みやすく)」は、広島弁で「易しい・簡単に」という意味です。
本プロジェクトは、ものづくりを通して障がい者とその家族、福祉活動に携わる支援者の方々の活力向上につながるテクノロジーを提供し、共生社会に貢献します。

これまで障がい者のユーザーからの声に耳を傾け、意思伝達装置の開発・改良に注力してまいりました。
今後はeBOCCIA等、障がいの程度や有無に関わらず、障がい者も健常者も一緒に楽しめるものをつくっていきたいと考えています。

持続可能な
共生社会の実現へ

経営資本

物的資本
本社土地・建物

人的資本
高い技術力を持つ従業員

知的資本
視線入力やシステムに関する特許・商標

関係資本
福祉関係者や大学・学生との人的繋がり

ユーザーの声を取り入れたシステム設計・アフターフォロー

企業理念

ミッション
より多くのユーザーにとって使いやすくQOLの向上につながるものをつくり続ける

ビジョン
ユーザーに役立つ製品の開発に挑戦し続ける会社を目指す

バリュー
ユーザーや支援者の方々が困っている時にすぐ対応する

プリンシプル
ユーザーや支援者の方々が求めていることは何かを徹底的に考え、行動すること

INNOVATIVE QUALITY COMPANY

外部環境

マクロ環境
社会　：共生社会への注目の高まり
政治・経済：補助金等による障がい者支援の拡充
技術　：AI等の技術進歩

ミクロ環境
顧客　：高齢化社会の進展
競合　：ニッチな市場環境

事業活動

マテリアリティ	取組方針
1.障がいのある方々の「やりたい」を叶え、「みやすく」生活できる社会に	miyasuku の 認 知 度 向 上 に 向けた取組みの継続
2.産学官の連携強化	大学・専門学校での学生向け講義・研修会の実施 産学官連携での研究開発
3.新サービスの開発・事業化や提供エリア拡大	発達障がいの方向けの新システムの開発・事業化 miyasukuの海外展開の検討
4.地域社会との共生	地域のイベントへの参加を通じた健 常 者 の 方 へ の miyasuku の認知度向上
5.従業員の知識向上	従業員の業務資格の取得支援
6.セキュリティ意識のさらなる向上	セキュリティに関する基本方針やプライバシーポリシーの従業員への浸透

社会価値・経済価値創出

目標値

共生社会をテクノロジーで実現する
- 特別支援学校へ訪問 20回/年
- インクルーシブスポーツイベントの開催 10回/年

産学官連携
- 学生向け講義・研修会の実施 10回/年
- 大学・高専と連携した県・国の補助事業への対応

新サービスの開発・事業化 サービス提供エリアの拡大
- 2024年度　発達障がいの方向けサービスの事業化
- 2025年度　miyasukuの海外展開

地域との共生
- 地域のイベント参加 5件/年

人材育成
- 2025年度 資格取得率：50%（デジタルアクセシビリティアドバイザー）

情報セキュリティ
- セキュリティに関する社内規定の読み合わせ 1回/月

【別紙 2】

「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」について

○特長

・これまでに公表されているサステナビリティ経営に関するさまざまな指標と、日本・地域特有の社会課題、更には企業の理念やビジョン、経営資源、外部環境等を踏まえて作成した当行専用ツール※を使用し、経営者との複数回の対話を通じて、サステナビリティ経営の観点から全体を俯瞰し、その導入・実践に向けて検討すべき重要課題（マテリアリティ）の絞り込みおよびサステナビリティ経営の実践に向けた基本方針の策定をサポートします。

※ サステナビリティ経営コンサルティングに専門的な知見を持ち、地元企業へのサステナビリティ経営導入支援という主旨に賛同いただいた日本経済研究所が作成したツールをもとに、地域課題も踏まえ作成した当行オリジナルのツール

・社内での啓発や社外への情報開示に活用可能な“サステナビリティ経営方針”のデータと、ツールを活用した分析結果を踏まえたフィードバックレポートをご提供します。（ご希望に応じて、本サービス利用にかかる当行からのニュースリリースも可能）

・ご希望に応じて、グループ機能とアライアンスを活用した具体的な計画策定支援や実行支援（別契約）を通じて、サステナビリティ経営の実践・浸透をサポートします。

○サービス概要

取　扱　店	法人取引のある当行の全営業店
対象となる方	当行と預金取引のある法人のお客さま
サービス内容	経営資源や経営理念、外部環境などを踏まえ、経営者との複数回の対話によってお取引先のサステナビリティ経営の主軸となるマテリアリティを特定し、“サステナビリティ経営方針”策定までを支援するサービスで、最終的な成果物として①・②を提供するもの ①策定した“サステナビリティ経営方針”のデータでの提供 （策定した方針は、希望に応じて当行ホームページにてニュースリリースも可能） ②お取引先のサステナビリティ経営導入・向上の参考となるレポートの提供 経営者との対話やアンケート、専用ツールによる分析過程などを踏まえた10 ページ程度のレポートを作成し、フィードバック実施
利用手数料	1,100,000 円（消費税込）